

引越しのその後

赤谷慶子

以前にも書きたれど、霜月の家移りは我にとりては大事業となりたり。普請の大幅なる遅延も然りながら、コロナワクチン接種等の事もあり、母の住民票を桜新町の介護ホームへ移したり。銀行の住所変更これまた大がかりにて、コロナ禍において面会時間は制限され僅か十五分。銀行員も吾もワクチン接種証明書を提示するを求められたり。

師走も後半となり、住所改め等雑用山積みの上、独製ミールレの食洗器は未だに納期知らされざりき。製品積みたる大量のコンテナ船港に接岸も能わはず、海のいづこにありやも不明なり。年内は納品不可と思ひ絶えざるを得ず。従ひて、厨の食洗器入りたる場所には大いなる空洞あり、そこへ猫二匹は興味津々に頻繁に入る。電子コンロ・かまどの裏側に入るれば危険おびたしく、ともかくもその空洞を覆はむと大工に依頼せり。加ふるに書籍の重きに本棚一つ崩落し、未だに修復せられず。そこへ入るべき物は段ボールに収めたるままにて放置するの外なし。それやこれやに、ストレスと過労の余りに夜半胃痙攣突発し。半時のうちに治まらずんば救急車を呼ばざるを得ざらんかと思ふほどの激痛なり。この周辺は病院あまたあり。関東病院(旧関東逋信病院)、高輪病院(旧船員病院)、北里研究所病院、東京大学医科学研究所病院等大病院、一軒の範囲内にあり。然れども苦痛に耐へて一夜を過ごし、翌朝近隣の小さき診療所に胃痛の薬処方せられ、一週間は胃腸に優しき野菜汁等のレシビを以て命を繋げり。

近隣の池田山に現在家を造作中の犬友宅もウッドショックにて木材手に入らず師走中旬より普請止めなり。現今、大手建設会社なりとも木材の入手に腐心するあり。況や中小企業に於てをや。友人は現在サンフランシスコ赴任中にて、来年三月末に帰国するの段なれど、それまでに建築完成せむや否や覚束なし。

オミクロンの変異株猛威を揮ひ、今後なりゆくや、大いに心もとなし。新しき年まであと一週間。コロナ禍にて暗雲たれこめたれど、明るき新年を迎へまほしきものなり。

(令和三年十二月二十五日受附)